

卒業式 校長式辞

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも、心からお慶び申し上げます。新型コロナウイルス対策のため、式を簡略にさせていただきましたが、新型コロナの流行が納まらない中、卒業される皆さんと保護者の方が一同に集っていただけたことをたいへん嬉しく思っています。

さて、卒業される二百五十名の皆さん。振り返ってみて、皆さんの高校時代はいかがでしたか？

新型コロナウイルス感染症という、思いもよらない、苦難に見舞われた三年間でしたね。

考えてみると、私たちの学校の教育は、学校に登校し、みんなで一緒に学び、活動することを前提にしていました。そんな当たり前であった前提は、感染症が大流行した時には、もろくも崩れてしまいました。

2年前の春を思い出してください。三月から五月まで、学校は全面休校で自宅待機となりました。部活の面でも、県の総体やインターハイなどがすべて中止されました。修学旅行も中止されました。六月になり、休校期間が明けたときには、家庭に引きこもっていたためのストレスだけでなく、学習の遅れ、進学や進路など先行きの不安でいっぱいだったでしょう。部活を頑張ってきた生徒さんは、活躍の場を失い、やるせない喪失感を味わっていたと思います。

なぜ、あんなことになってしまったのでしょうか？コロナ感染症は人類が初

めて経験するものでした。このため、社会全体が、社会に大きな影響を与えることなく対応することができなかつたのですね。うまく折り合っていく知恵も方法もなかつたということです。

あれから一年九か月がたち、新型コロナウイルスは、まだ流行しています。その中で、いろいろな制限や不自由さはあつたものの、クラスに来てみんなで学び、部活もできるようになってきました。そうなってくると、皆さんは、コロナの流行によって失つた時間や機会を挽回すべく懸命に努力してきました。高校2年生と3年生の期間はそのような時期でした。そして、四月からの進学先や就職先を立派に決めて、本日は、晴れて卒業式を迎えることができました。本当に素晴らしいことです。

このようなことが実現したのは、ワクチンの開発と接種が進んだことなどの社会的な対策が基本にあると思います。しかし、それよりも何よりも、ここにいる皆さんが、クラスや部活で、コロナ感染を防ぐためのルールを忠実に守っていたことが一番の要因と考えます。その証拠に、本校は、おかげさまで、校内での感染者やクラスターをまだ一件も出さずにいます。皆さんの、自覚ある行動に深く感謝します。

二年前の学校再開時には、先行きが見通せない厳しい状況であつたことを思い起こすと、今日の卒業式の日、これからの皆さんの輝かしい未来を予感できるまでになつたことは、たいへん晴れがましいことです。困難を乗り越えて

頑張ってきた卒業生の皆さんを心から祝福いたします。

ところで、今、世界を大きく揺るがしているニュースを皆さんも知っていますね。ロシアのウクライナへの武力侵攻です。新型コロナウイルス感染症は、皆さんが経験したように、世界に大きな混乱をもたらし、世界は大きく変わりました。このロシアのウクライナ侵攻も世界を大きく変えようとしています。武力を使った侵攻は、世界で維持されてきた国際秩序を根底から覆すものです。この国際秩序は、悲惨な第二次世界大戦が人類にもたらした破壊と絶望への反省の上から生まれ、七十年以上も世界で守られてきたものです。国際秩序を覆すこのような行為を世界の大国が起こすことは、ほとんど予想されていなかったことです。また、秩序を維持しようとする国々とは、激しい対立が生じ、大きな混乱が起こっています。皆さんは、望むと望まざるに拘わらず、このように、驚くような変化が生じている世界をこれから生きていくわけです。

そこで、皆さんに提案です。大きく変化する世の中では、これまでの習慣や常識に頼る考え方は実社会での活動にそぐわない点がでてきます。皆さんが次のステージを生きる中で、決まりごとや考え方に何か違和感を感じたら、一度立ち止まって考えてみてください。

他人の意見を鵜呑みにせずに、自ら情報を集めて、自分で考えてみてください。その際、進学した先の教員、コーチ、先輩、友人、または、職場の先輩や同僚など、いろいろな立場の人と対話して、いろいろな視点から考えを少し掘

り下げて見てください。世界が変化する中では、いろいろな意見を持った人と
交わり、話し合い、考え方を共有して生きていくことが欠かせません。そうい
う社会的な関係を、是非、あなたたち一人ひとりが創って行ってください。

何か変だなと感じて、そのことを身近な人と話しあってみることは、それほ
ど大変な作業ではないでしょう。大きく変化するこれからの世界を生き抜き、
担っていくためには、皆さんのそれぞれがこれから生きていく環境の中で、最
も相応しいと判断できる力を絶えず伸ばしていくことが欠かせないと思いま
す。是非、チャレンジしてください。

さて、本日、無事、卒業の日を迎えられるのは、常に変わらぬ愛情を注ぎ、
励まして来られたご家族の方の理解と支援があったからこそです。また、皆さ
んの指導にあたった本校教員も、コロナ禍のオンライン学習などへの対応や進
学指導、校内感染を防止するための放課後の除菌作業など、特別な努力を重ね
てきました。これらの方々への感謝の気持ちを忘れずにいてください。

皆さんは四月からはそれぞれの道を進むわけですが、時には、クラスメート
と過ごした本校での年月を思い出してください。人生で大切なのは人と過ごす
時間です。そして機会があったら、この学校にも立ち寄ってください。私たち
教職員はいつもここで待っています。

終わりになりますが、保護者の皆様にお祝いとお礼を申し上げます。本日は
お子様のご卒業、誠におめでとうございませぬ。教職員一同、心よりお慶び申し

上げます。また、今日まで本校にお寄せいただきましたご理解、ご支援、ご協
力に深く感謝いたします。卒業生の皆さんの前途に「幸多からん」ことを心か
ら祈念いたしまして式辞といたします。

令和四年三月四日

岡山理科大学附属高等学校校長 田原 誠